



宗教法人神習教(桜神宮)

業種／サービス業
主な事業内容／宗教法人の運営
従業員数／6人



訓練

隣接した幼稚園との連携も



園児を招いての節分祭



幼稚園と合同の消防訓練

災害時を想定して3ヶ月に1度宿泊訓練を実施

当宮では、東日本大震災のような大地震による大型災害を想定して、3ヶ月に1度宿泊訓練を実施。訓練は発災時に慌てないように繰り返しを行い、防災への心構えを養っている。

訓練では、備蓄品を使用して1日を過ごす。ふだん使うことのない簡易トイレを実際に使って使用方法を学んだり、災害時の行動手順を確認するなど実践的な訓練を行っている。



3ヶ月に1度行われている宿泊研修



災害時はホールを宿泊所として使用できる



災害時における簡易トイレ研修の様子

SNSアプリを使った職員の安否確認訓練

出張や外での催事など、施設の外にいる職員の安否確認手段として、SNSアプリを利用。緊急時に役立てるため、職員全員でSNSアプリの研修を行い、日頃から職員間で使い慣れておくように努めている。



備蓄

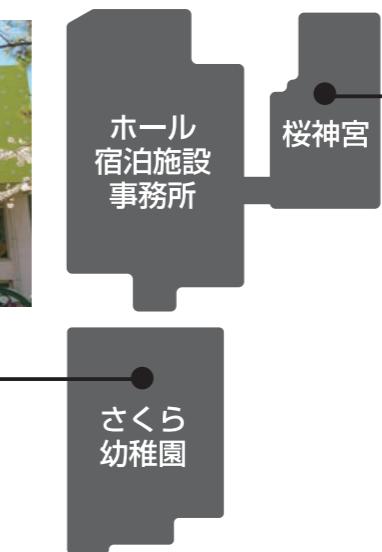
神様へのお供え物(米等)の活用

一斉帰宅抑制で職員が3日間過ごすために必要な備蓄品を用意。神様へのお供え物として、約60kg以上の米等の食料が常備されているため、万一、幼稚園の園児や保護者などを受け入れる状況となっても対応が可能となっている。



職員が3日間過ごすのに必要な備蓄品を用意

●さくら幼稚園



●桜神宮

